

レ ス ス ン プ ラ ン

2 学年 第 3 回 (異文化理解)

テーマ: 「これって、どこのもの」



授業の目標:

- (1) 自分たちが日頃していることや使っている物などが、どこから来たのかを知る
- (2) 世界の国々がお互いにつながりをもっており、多くのものや考え方をお互いに学び合っていることに気づく。

用意するもの:

	ALT	担当教師
<input type="checkbox"/> ALTの母国からきた物で、日本で有名なものに関する情報 <input type="checkbox"/> 外国からきたものの絵(ピザ、野球など) <input type="checkbox"/> 国旗、クイズ用の質問	<input type="checkbox"/> 世界地図(できれば黒板に大きなものを貼る)	

時間	活 動	気づいた点
1分	ALTと担当教師 はあいさつする。 担当教師 は「日頃自分たちが何げなく思っているものや使っているものなどが、どれほど世界の国々につながっているかを知ってみよう。」と本時のテーマを子どもたちに伝える。	
6分	ALT は母国から日本にきた物で、日本でよく知られているものを紹介する。	
8分	担当教師 の指示で、子どもたちは日本のもので、どんなものが外国で有名かを想像する。(出てこない場合は、 担当教師 が例をあげ、子どもたちの声を引き出す。(例)カラオケ、相撲、柔道、寿司、任天堂DS、ポケモン) ALT は子どもたちの意見を聞き、母国でそれらが有名かどうか答える。	
7分	担当教師とALT は外国からきた有名な物の絵をみせる。子どもたちは自由に黒板の世界地図を見て、地図上の適切な場所にその絵をおく。(ピザをイタリアの位置へ等)	
18分	担当教師 は指示を出し、子どもたちは椅子を移動してチーム毎、縦一列の列を作る。(各チーム人数がなるべく同数に工夫) ALT は列の先頭の生徒に国旗を渡す。(渡す前に、どの国の国旗であるか子供が知っているかどうか確認する)その後、 担当教師とALT は国旗ゲームを説明する。 担当教師とALT は交互に旗を持っている子どもたちに質問をする。旗をもっている子どもは、答えが分かったら自分の持っている国旗を掲げる。正解の場合には、国旗を列の後ろの人に渡す。間違った場合は、正解するまで旗をそのまま持つ。一番早く、列の最後の人が必要な答えを言ったチームが勝ちとする。	
5分	担当教師 は授業のまとめをする。(例)「毎日の生活の中で、私達は外国からきた多くの便利な素晴らしいものを使っていて、外国の人でも日本からきた物を使っている場合も多い。どの国にも素晴らしい物があり、出来るだけ多くのことをお互いに学び合うことが大切ですね」	